

## イプシロンロケット 6号機の打上げ結果を受けて

令和4年10月14日

文部科学省

イプシロンロケット 6号機対策本部

10月12日のイプシロンロケット 6号機の打上げ結果を受け、文部科学省と JAXA は、原因究明及び必要な対策の検討を進めています。

ロケット飛行中の状態のデータ、いわゆるテレメトリデータは所期したデータが良好に取得されており、ロケット打上げまでの各種データも取得されています。これらデータの解析・分析をはじめとする技術的な原因調査と対策検討を JAXA においてしっかり進めつつ、早急に一定の目処を得ることが重要と考えています。

現在我が国は、世界の宇宙開発の状況を踏まえ、ロケット開発を精力的に進めており、液体燃料ロケットである H3 ロケットは、今年度の試験機 1号機の打上げを目指し地上試験が進んでいます。固体燃料ロケットであるイプシロンロケットの次に予定されているイプシロン S ロケットの開発も進めてきています。

今般の原因究明及び対策について、その技術的な精査と反映には細心の注意を払う必要がありますが、ロケット開発全般には、そういった精査を踏まえた配慮とともに、今後もスピード感を持って当たることが重要と考えています。

また、これまで我が国が開発した H-IIA、H-IIB、イプシロンの基幹ロケットは、50機を超える連続成功を収めてきていますが、これらの揺るぎない技術資産も最大限に活用し、今般の対応及びロケット開発を進めることが重要と考えています。

文部科学省は JAXA とともに引き続き宇宙開発利用の推進に最大限の努力を傾注してまいり所存です。